

事業報告書

団体名	白石川堤防の桜を守る会
代表者役職・氏名	会長 渡邊 孝雄
事業者	白石川堤防環境整備事業
実施した事業の内容 ・活動内容 ・実施日時 ・場所 ・参加人数 等	<p>◎白石川堤防（白石バイパスより旧国道四号線白石大橋まで）</p> <p>○白石川堤防南側法面雑草の除草（美化）作業 （1回）令和3年7月14日～18日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械による草刈り作業 作業人数10名（14名） <p>（2回）令和3年9月26日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白石川堤防沿いのゴミ拾い作業（美化作業） 作業人数30名（36名） <p>（3回）令和3年10月3日（日）雨天のため草刈り作業延期</p> <p>（4回）令和3年10月18日～24日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械による草刈り作業 作業人数10名（15名） <p style="text-align: right;">合計：50名（65名）</p> <p>（5回）令和3年12月15日～17日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜の剪定・ツタ除去・雑木の刈り払い・枝葉の処分 （シルバー人材センター）
事業の成果や効果	<ul style="list-style-type: none"> ○雑草の伸びが速く除草作業予定を早める必要がある。除草後、見違えるほど気持ち良い市民の散策路となった。 ○堤防沿いのゴミポイ捨てが無くなり通行人の環境美化意識の高まりが見える。 ○堤防沿いの住民が積極的に除草やゴミ拾いを行い、常に清潔で気持ち良い堤防になっている。 ○白石川堤防沿いの桜並木の見栄えが良くなり、特に白石川の清流と蔵王連峰とのコントラストを市民や観光客にアピールできた。しかし、今年は新型コロナウイルスの流行で鑑桜する人出が少なかった。
今後における事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ○堤防沿いの笹竹・雑草は毎年伸びてくるので定期的に刈り取りが必要である。 ○桜が老木になっており、枯れ枝など定期的に剪定をして樹木の延命を図る必要がある。 ○市の害虫駆除消毒作業は今後とも定期的実施して樹勢維持をお願いしたい。 ○老木にツタの根が深く入り込んで、樹勢の衰弱が見られる。長期的にツタを取り除く作業が必要である。 ○桜の老木が民家の屋根にかかり、台風等で屋根を壊す恐れがある。住民から枝伐採の要望が出ている。危険なので高所作業車での伐採が必要である。